

オートメーション&センシング事業

重点取組施策

IoTやIndustry 4.0時代に最適なソリューションを提供

労働人口の減少やIoTなどの進展に伴い、遠隔監視・操作への対応に加え、作業の高効率化や自動化推進を実現する製品の需要が高まっています。また、IDECではお客さまの多様な課題解決に貢献できるソリューション販売の強化を行っているため、キーデバイスとなるオートメーション、センシング機器のラインアップ拡充にも取り組んでいます。

機械設備や生産ラインを制御するプログラマブルロジックコントローラ(PLC)や、状態の変化や物体を検出するセンサ、トレーサビリティ用途での需要が拡大するコード

リーダなどの自動認識機器など、多種多様なソリューションを通じて、生産の自動化・効率化を推進しています。

ソリューションビジネス強化のため、AGV・AMR向けの開発キット「EZW-CUBE」を新たに発売しました。ez-Wheelのセーフティホイールドライブの主要機能を実際に使っていただくための製品で、IDECのHMI、安全関連機器などをパッケージ化しており、お客さまのアプリケーションに合わせてカスタムすることができます。

今後も、豊富な製品ラインアップと幅広いソリューションを提案することで、お客さまの課題解決に貢献していきます。



需要が拡大するセンサのラインアップを強化

多様なニーズに対応できるセンサを拡充しており、2023年には、IDEC ALPS Technologies 株式会社で開発したマルチユースミリ波レーダセンサ「1A1M形」を発売しました。民生・車載市場で培った技術を産業機器向けに応用することで、悪環境下でも優れた検知・距離検出性能を実現しました。2024年1月に、移動体検出モードなどの新機能を追加するとともに、高感度モデルを新たに発売しました。

また、従来の光電センサよりも小形で、省スペース・省コスト・省工数、装置の小形化・高機能化に貢献する、アンブ内蔵ミニ光電センサ「SA1N形」も発売しました。



IoTを実現する製品・機能で最適なソリューションを提案

近年、機器をネットワークで接続して情報を上位コントローラに集約したり、制御盤の機器分散配置が進んでおり、リモートI/Oシステムの需要が高まっています。ニーズに対応するため、システム構築の要となる、バスカプラモジュール「SX8R形」を発売しました。ホストコントローラと産業用ネットワークを介して、PLC「FC6A形」の豊富なI/Oモジュールを用いたリモートI/Oシステムの提供が可能となります。

また、プログラマブル表示器とPLCを一体化した「FT2J形」も新発売しており、省スペース、省工数、環境配慮型のIoTオートメーションシステムの実現に貢献します。



担当者の声



中国の顧客ニーズに応えるソフトウェア開発

愛徳克電子科技(上海)有限公司 総経理 趙俊峰

愛徳克電子科技では、プログラマブル表示器一体型コントローラ「FT2J形」のソフト開発を担当しており、顧客の利便性を考慮しつつ、スピードやコストを重視する中国の顧客ニーズに基づき、ソフトウェアの起動時間をミリ秒単位で改善しました。

また、一体化されたプログラマブル表示器とPLC間の通信を、円滑かつ高速に行うため、さまざまな技術案を評価し、最適な案を実現しました。コスト面では、現地向けの仕様を明確にし、コストの優位性を追求し、開発納期を短縮する取り組みを行っています。